

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス福の木		公表日 令和8年 5 月 8 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		放課後デイサービスの基準に適したスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		放課後デイサービスの基準に準じて配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		床に衝撃緩和素材を使ったり、視覚からわかりやすいように 経口テープやカーペットの色を変えるなどしている。	日常から整理整頓された環境を提供できるように心がけているが更に常日頃から過ごしやすい環境を提供させていただくことに意識を高める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		安全、快適性の向上を目的に 整理・整頓・清潔を徹底している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		パーティションを使い個別に過ごせる環境も提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		管理者、マネージャーを中心に職員から日常の業務内容の手順や方法を聴取し、見直し箇所を洗い出し生産性向上を目的に業務改善を目指している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		個別支援計画書の見直し時、保護者様の評価や意向をスタッフ会議で検討し把握した上 児童の支援にあたっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティングでの意見や「気づきノート」からの気づきを業務改善に生かしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	第三者による評価は行ってない。	今後も第三者による外部評価は考えていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		行政主催の研修や民間団体の研修に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムを作成し、ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		個別支援計画書の見直し時の面談を通して 適切な支援内容で作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		スタッフ会議を開き、情報共有し検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		情報共有し、支援に強んでいる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたツールは使っていない。	独自のツールであるが、保護者様と事業所が同じフォーマットを使い、同じ視点で評価、意見を加味し個別支援計画書の作成につなげている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		必要な支援項目を設定し、具体的な支援内容を定めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		スタッフ会議を開き、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		スタッフ会議を開き、活動プログラムを立案している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		当日の活動は 朝のミーティングで確認しているが、児童の体調によって活動を変更し 対応している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝のミーティングで 当日の活動の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	7	雇用条件の違いから支援終了後の打ち合わせは行っていない。緊急性のある物はすぐに管理者に連絡し管理者が対応している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		ケース記録に記録している。支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に一度見直しを実施し、適切な支援につなげている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		ガイドラインの基本活動にそって支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		適切な判断力の習得を目指し 自分で決定できる力を養える支援活動を実施している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		関係機関との会議はないが、障害児相談支援事業所との情報交換は 児童発達支援管理責任者が対応している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		関係機関や各市町村の障害福祉課からアドバイスをいただいている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校からのメール配信や保護者様から情報を頂いている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		障害児相談支援事業所から情報を頂き 情報共有をさせていただいている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		障害児相談支援事業所を通じて、移行先への情報を提供している。直接、サービス事業所から情報提供の依頼があった場合は、お話をさせていただいている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		連絡協議会での事例検討会で、スーパーバイズを受ける機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	7	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他団体の児童と活動する機会は、ありません。	保護者様からの希望もありませんが 営業日にフェスティバル等地域の行事が 開催されている時は参加したいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		地域の協議会へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時の対面でのお話や連絡帳での情報から共通理解ができている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	7	昨年は保護者参加の研修を行えなかった。ペアレント・トレーニングの実績はない。	市町村や他業者からの ペアレントトレーニング研修の情報があつた場合には、保護者様に対し ご案内したいと思います。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		新規契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		個別支援計画書の見直しの際の面談時に保護者様及びご利用児童様の意向をお聞きし、個別支援計画書作成時 優先させていただいている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		同意書にサイン・捺印を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談事項があつた場合、迅速に対応し、支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	保護者様同士の交流の場はもうけていません。	希望がないため設けておりません。保護者様同士でラインを使った交流をされていたりします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	苦情・相談があった場合は、迅速かつ適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	毎月の行事予定を記布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	鍵付き書庫で十分留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	各児童の 特性に応じた支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	事業所の活動に招待・参加してはいただいている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	各種マニュアルの策定及び必要な訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	BCP策定及び訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	事前に報告は伺っております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	保護者様から情報を頂いています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	安全計画を作成し管理に必要な研修・訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	安全計画書を保護者様に配布している。面談時内容の説明をさせていただいている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	ヒヤリハット事例があった場合、その事例を検討し 再発防止策を検討している。毎年一回振り返りを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	虐待防止委員会及び職員研修を実施し、虐待の知識を習得している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	身体拘束委員会の開催、職員研修を開催し、身体拘束の知識・意識を高めている。		